

- 1 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？

- 2 九州の防衛や外交の拠点で、白村江の戦いのあとに水城などで守りが固められた役所を何という？

- 3 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

- 4 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？

- 5 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

- 6 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？

- 7 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？

- 8 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

- 9 飛鳥時代、仏教の採用をめぐって蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？

- 10 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

- 11 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？

- 12 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？

- 13 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？

- 14 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？

- 15 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？

- 16 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？

- 17 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

- 18 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

- 19 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

- 20 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？

- 21 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

- 22 聖徳太子や蘇我氏を中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>聖徳太子</u> は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。		<u>聖徳太子</u>	☐
2	<u>大宰府</u> は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。		<u>大宰府</u>	☐
3	<u>渡来人</u> たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。		<u>渡来人</u>	☐
4	<u>大海人皇子</u> は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。		<u>大海人皇子</u>	☐
5	<u>仏教</u> は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。		<u>仏教</u>	☐
6	<u>遣隋使</u> は、小野妹子らによって何度か派遣されました。		<u>遣隋使</u>	☐
7	604年に制定された <u>十七条の憲法</u> は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。		<u>十七条の憲法</u>	☐
8	<u>法隆寺</u> は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。		<u>法隆寺</u>	☐
9	<u>物部氏</u> は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。		<u>物部氏</u>	☐
10	<u>冠位十二階</u> は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。		<u>冠位十二階</u>	☐
11	「 <u>飛鳥文化</u> 」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。		<u>飛鳥文化</u>	☐
12	<u>飛鳥文化</u> は、法隆寺などの寺院建築や、釈迦三尊像のような仏像に見られる彫刻に特徴があります。		<u>飛鳥文化</u>	☐
13	672年に勃発したこの内乱は「 <u>壬申の乱</u> 」と呼ばれます。		<u>壬申の乱</u>	☐
14	603年に制定された <u>冠位十二階</u> は、役人に大徳から小智まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。		<u>冠位十二階</u>	☐
15	<u>渡来人</u> は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。		<u>渡来人</u>	☐
16	<u>天武天皇</u> は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。		<u>天武天皇</u>	☐
17	釈迦三尊像に見られる「 <u>左右対称</u> 」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。		<u>左右対称</u>	☐
18	「 <u>公地公民</u> 」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。		<u>公地公民</u>	☐
19	<u>儒教</u> は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。		<u>儒教</u>	☐
20	<u>聖徳太子</u> は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。		<u>聖徳太子</u>	☐
21	天智天皇が作成させた <u>戸籍</u> （庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。		<u>戸籍</u>	☐
22	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。		<u>飛鳥文化</u>	☐

言えなかった用語ノート